

● 杖立橋 + Pホール

TSUETATE BRIDGE +
TSUETATE
MULTIPURPOSE HALL

阿蘇外輪山の外側に位置する小国町。
「地域文化の醸成」、
「文化の香る生活環境の演出」等を柱に、
地域固有の資源や条件を活かした独自の地域づくり
「悠木の里づくり」を展開している。
数多くの木造建築群は全国的に高い評価を得ている。
杖立橋は小国町の奥座敷、
杖立温泉街を分けるように流れる
筑後川(通称杖立川)にかかる。夕暮れ時には、
柔らかな照明に照らし出された橋の姿が、
温泉街の灯と共に、昼とは違う表情を見せる。

Kumamoto Artpolis

K・A・P

くまもとアートポリス

熊本県

くまもとアートポリス事務局
熊本県土木部建築課 〒862-70 熊本市水前寺6-18-1
☎096-383-1111(6215)

また、橋のかけ替えを契機に、
様々な議論が盛り上がり、
橋と一体化するように建設された
多目的施設Pホールの壁面には、
地域の“人々”の“パワー”が
表現されている。





● 建築概要

橋と建築を一つの構成として捉え、地域の活性化につながるように、また街全体のランドスケープ計画の起点となるよう計画した。溪谷に架かる橋は、流れる川と直交するオブジェとして位置付ける。そして流れる川や対岸からの眺め、街の持つコンテクストより「面としての壁」を、橋を受け止めるように（川と平行に）配置。その裏側に、高低差のある北側道路と橋のレベルを結ぶ動線を確保。緩やかなカーブで折れ曲がる一枚のスラブに包まれた多目的スペースは、小国杉の丸太の斜材によって上空に持ち上げた。

● 建築データ

名称 / 杖立橋 + Pホール
所在地 / 阿蘇郡小国町大字下城字湯鶴杖立

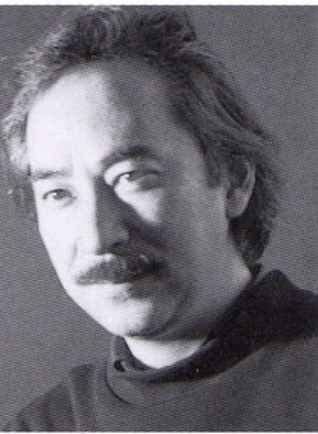
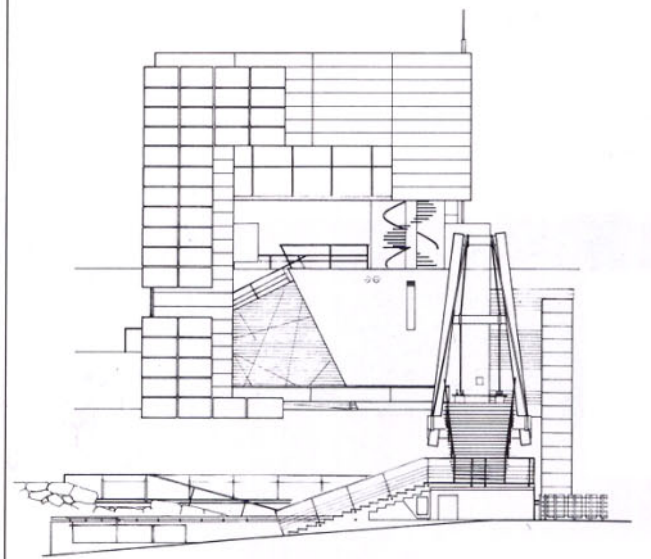
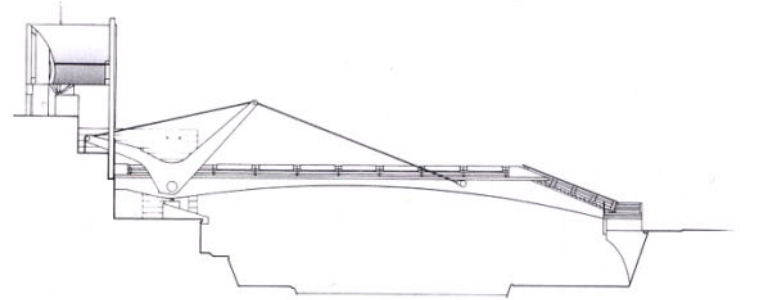
主要用途 / 遊歩橋
事業主体 / 小国町
設計者 / 新井清一 + シダ橋梁設計センター
施工者 下部工事 / 杉野建設
上部工事 / 前田建設工業

橋長 / 53.5m
幅員 / 3.2m
構造 / 2径間連続鋼斜張橋
床仕上 / 自然石張り
施工期間 / 1994年9月～1996年3月
総工事費 / 234百万円

主要用途 / 多目的ホール
事業主体 / 小国町
設計者 / 新井清一
施工者 建築 / 橋本建設
機械 / パインライフシステム
電気 / 九電工

敷地面積 / 157㎡
建築面積 / 95㎡
延面積 / 131㎡
構造 鉄骨造、鉄筋コンクリート造
外部仕上 屋根 / 亜鉛合金板横一文字葺
外壁 / コンクリート打放、
セメント中空成形板他

施工期間 / 1995年11月
～1996年3月
総工事費 / 94百万円



● 建築家プロフィール

新井 清一 (あらい きよかず)

- 1950年 横浜生まれ
- 1983年 SCI-ARC (南カルフォルニア建築大学) 修士課程修了
- 1981～91年 MORPHOSIS 役員
- 1985～91年 SCI-ARC インストラクター
- 1991年 ARAI-ARCHITECTS 開設
- 1995年 京都精華大学美術学部助教授

● 主な作品

杖立橋 + 杖立多目的ホール、塚本邸、千葉ゴルフクラブプロジェクト、ほか

● 受賞歴

- 1985、87年 ロサンゼルス建築学会賞
- 1991年 那須野が原ハーモニーホールコンペ入賞
- 1992年 中原中也記念館コンペ入賞
- 1993年 新潟市民文化ホールコンペ優秀賞
- 1994年 東北歴史博物館特別選賞
- 1996年 霧島彫刻ふれあいの森アートホールコンペ優良賞



PHOTO / 清島 靖彦